大会の参加に当たって

- (1) 各所属の学校から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 入館前2週間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) 「健康チェック表」を入館者全員が持参しているか確認すること。
提出できない場合は、入館できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (4) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるよう準備する。COCOAを入れている場合は、電源をONにした上でBluetoothを有効にすること。
- (5) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内では、マスクを外してもよいが、会話を控えること。招集所で外したマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (6) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。
レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。
- (7) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（2m以上）をとって行動すること。
- (8) レース終了後、マスクを着用し、室内履きを履いてから移動すること。
- (9) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと（レース直前のスタート台付近や、サブプールでの練習時）。
- (10) 食事は、スタンド観客席で摂ること。人との距離を2m以上保ち単独で摂ること。
- (11) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (12) 以下のものについては、会場に持ち込んではいならない。
 - ・ チーム共有のドリンクサーバー（ドリンクディスペンサー）
 - ・ マッサージベッド（トレーナーズベッド）、アイシングバス、トレーニングバイク等、使用するために設置場所を必要とするトレーニング、コンディショニング用具
 - ・ チームで共用するストレッチマット（ヨガマット）、ブルーシート、毛布（ブランケット）等の敷物、チューブ、バランスボール等の運動用具
（本項に記載した敷物と運動用具は、他者と共用せず、個人専用で使用する物は持ち込んでよい）
 - ・ メガホンおよびエアホーン等の鳴り物、横断幕（各校1枚の部旗は除く）、のぼり
 - ・ 練習時のパドル・コード類（使用時に他人の補助を要したり、柱や手すり等に引っ掛けたりする物）
 - ・ ガウン（バスローブ）

第97回 日本学生選手権水泳競技大会 監督者会議 (資料)

1 申し込み状況 (9月24日現在)

	エントリー				出場			
	学校数	選手数	個人種目	リレー種目	学校数	選手数	個人種目	リレー種目
男子	—	625	767	122	—	454	561	72
女子	—	429	535	115	—	333	419	72
合計	81	1054	1302	237	62	787	980	144

※17日(金)の申し込み確認期間終了後のベストタイムランキングを用いて、大会を安全な規模で実施するため、出場制限を行った。

※本大会にエントリーした全員に参加資格証明書を発行する。なお、出場制限により出場が叶わない者に対しては、学校ごとに後日郵送する。

2 日程 (9月26日現在)

月 日	日程	開門時間	予選競技		決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
10月7日(木)	1日目	11:00	15:15	15:43	17:30	17:41	19:10
10月8日(金)	2日目	7:30	10:00	13:14	16:00	17:39	19:10
10月9日(土)	3日目	7:30	10:00	13:59	16:00	17:58	19:00
10月10日(日)	4日目	7:30	10:00	13:55	16:00	17:51	18:50

※ 別途公開する監督者会議資料の質疑応答を10月6日(水)17:00より、オンラインで行う

※ 1日目 予選競技開始前15:00から開会式を行う。

※ 4日目 決勝競技終了後、直ちに閉会式を行う。

3 競技について

- (1) 本競技会は2021年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は、予選・決勝ともに8レーンで、タイムスケジュール通りに実施する。
- (3) 女子800m自由形・男子1500m自由形はタイムレース決勝で行い、最終組は決勝時間に行う。それ以外の種目は予選、決勝を行う。決勝は予選の結果上位8名が出場できる。
- (4) 決勝進出において、同記録で予定人員(チーム)を超えた場合はスイムオフを行う。
- (5) 補欠が同記録で複数いる場合、抽選を行う。補欠は、2名(リレーは2チーム)とする。
- (6) 招集は競技開始10分前から行う。本人確認ため、招集所にはADカードを必ず持参すること。ADカードは首にかけて、必ずマスクを着用し、ユニフォームなどを入れる袋(ビニール袋など)を持参すること。なお、招集所で水着の確認を行う。
ガウン(バスローブ)の着用は禁止する。必ず、ユニフォーム(ジャージ、シャツ)を着用すること。
- (7) 予選を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、当日の開会式もしくは予選競技開始20分前(1日目は14:40、2日目以降は9:40)までにリゾリレーションデスクに届け出ること。時間内に届け出をしなかった場合は、個人種目・リレー種目ともに棄権料3,000円を、無断で棄権した場合は、棄権料に加えて、更に罰金3,000円を徴収する。
 事情により会場へ来場できない場合は、メールにて棄権の申告を行うことができる。
 申告先メールアドレス: intercollege-entry@swim-g.net
 また、原則として、決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その種目の予選競技終了後1時間以内に、棄権料3,000円を添えてリゾリレーションデスクに届け出ること。棄権申告後、上訴審判の裁定により棄権が受理された場合は、繰り上げ選手の決定を行う。
- (8) 競技成立後、折返監察員の指示によりプール横から退水すること(リレーの第1泳者～第3泳者も同様)。決勝の優勝者(チーム)は自レーンから退水し、フラッシュインタビューを受けること。

- (9) 女子 800m自由形・男子 1500m自由形の周回通知は、水中ラップカウンターを使用し、コールは行わない。
- (10) 公式計時 S E I K O による計時バックアップは、水中バックアップシステムを使用する。
- (11) 選手紹介は、予選は組のみの紹介、決勝は入場ゲートで選手紹介を行う。なお、決勝に出場する選手は、氏名、学校名の通告を受けてから入場すること。
- (12) リレーオーダーは下記の時間までにリゾリ ューションデスクに提出すること。

	予選競技	決勝競技
10月8日(金)	9:40	14:15
10月9日(土)	9:40	15:00
10月10日(日)	9:40	14:55

- (13) 本競技会は、上訴審判団を設置する。
- (14) 本競技会は、日本アンチドーピング規定が適用されるので、常にADカードを携帯すること

4 駐車場

- (1) 東京辰巳国際水泳場に隣接する有料駐車場は、100台のみ使用可能(乗用車に限る)。
※オリンピック・パラリンピックからの原状復帰工事の進捗により、駐車場が使用できない場合がある。
- (2) 駐車場も館内と同様の扱いとする。敷地内や車内を控え場所として使用しないこと。
※7 館の使用について(2)、(4)を参照のこと
- (3) バス、マイクロバスを利用する学校は送迎のみとする。会場に隣接する全ての道路は駐車禁止のため、送迎車両の待機はできない。公共交通機関・タクシーの利用を周知徹底すること。

5 入館・退館について

- (1) 1日目の10:30より、1階レストラン側入場口で、代表者によるチーム受付を行う。
- (2) チーム受付以外の参加者の入館時の手順は以下の通りとする。
- ① 学校ごとに、同じ時間区分で入館する人数分の健康チェック表をまとめて提出し、提出書類と同じ順番に並んで待機しておく。
 - ② 一人ずつ、点呼を受けたら、ADカードを提示して入口へ進む。
 - ③ 手指のアルコール消毒、検温を受け、発熱がないことが確認できたら入館できる。入館時の検温で37.5℃以上の場合は、別の場所で再度検温する。それでも37.5℃以上あった場合は入館できない。
- (3) 入館後の一時退館・再入館は認めるが、その場合は退館時に【再入館票】を必ず受け取ること。その後、再入館の際は、ADカードと【再入館票】を提示し、再度手指のアルコール消毒、検温を受けること。その際発熱等あった場合は入館できないことがある。なお、【再入館票】の提示がない場合は、再度、健康チェック表の提出を求めることがある。
- (4) ADカードについて
- ① 本大会は無観客とする。ADカードを持っている選手・管理者・付添以外は入館できない。館内にいる時は常時、首からさげて着用すること。
 - ② 付添者には、申請者全員に1枚ずつ発行する。入館時、カードに記載された入館日を確認する。
 - ③ ADカードの管理は厳重に行うこと。ADカードを紛失した場合には、有償(3,000円)にて再発行を受けること。また、入退場は必ずADカードを提示して係員の指示に従うこと。
※無観客として開催するため、チケットの販売は行わない。
- (5) 入退館時間(別表1も参照のこと)
- ① 1日目は、11:00よりチーム受付が完了したチームから随時、入館できる。
 - ② 2日目以降の朝7:30の開門は、当日の個人種目に出場する選手と、その管理者・付添者が入館できる。次に、8:00より当日のリレー種目に出場する選手(リレー交代要員含む)と、その管理者・付添者が入館できる。それ以外の選手・管理者・付添者は、9:30以降に入館できる。
※個人種目出場選手のうち、自身の個人種目がない日にリレー出場(またはその練習)のために入場する場合、同チームの対象選手全員が揃って来場し、入場申請書(仮オーダー)を提出すること。その際、係員が申請選手のADカードに仮オーダー提出者である印を付ける。入場できる人数は、あらかじめ届け出されている「リレー選手/リレー交代要員」を含めてフリーリレー最大5名、メドレーリレー最大6名とする。正式

なりレーオーダーは指定時間までにリゾリユーションデスクに提出すること。

- ③ 1日目と2日目は決勝競技終了から1時間30分後を閉館時間とする。また、3日目と4日目は決勝競技終了から1時間後を閉館時間とする。

(6) 入退館場所

- ① 1日目の入場は、1階レストラン入口から行うこと。
- ② 2日目以降の朝7:30の入場について、シード校は1階レストラン側入口、その他の学校は2階スタンド入口を使用する。それ以降は、2階スタンド入口を退場専用とし、入場は全て1階レストラン側入口を使用する。

(7) 「健康チェック表」の提出について

- ① 参加者は、入館2週間前から毎日体温を測定すること。
- ② 日水連ホームページからダウンロードした「健康チェック表」に、事前に必要事項を記入すること。
- ③ 「健康チェック表」は、入場日ごとに提出し、返却しない。
(最大で4枚準備し、必要に応じて記載内容を写真などで記録しておくこと)

6 プールの使用について

(1) 会場内のプールで練習できる時間帯は以下の通りとする(別表2も参照のこと)。

プールへ向かう動線は更衣室の1階レストラン側出入口に限り、ADコントロールを行う。

① 1日目

- 1) 予選競技前は50m自由形および翌日(2日目)の予選競技に出場する選手(リレー交代要員含む:以下同じ)が練習できる。なお、翌日出場者の練習は、決勝競技終了までとする。
- 2) 予選競技終了後のメインプールは、50m自由形決勝出場者専用レーンを設ける。
- 3) 決勝競技終了後、メインプールとサブプールで翌々日以降(3・4日目)の予選競技に出場する選手が練習できる。なお、決勝競技終了から1時間30分後を閉館時間とする。ダイビングプールは、当日決勝競技出場者のダウン専用とする。

② 2日目以降

- 1) 朝は当日の予選競技に出場する選手が練習できる。また、メインプールは、出場種目ごとに利用できる時間帯を指定する。
- 2) 昼休みのメインプールは、当日決勝競技出場者のみが練習できる。
- 3) 予選競技終了1時間後~決勝競技終了まで、サブプールで翌日の予選競技に出場する選手が練習できる。
- 4) 決勝競技終了後、メインプールで翌々日の予選競技に出場する選手が練習できる。なお、決勝競技終了から1時間30分後を閉館時間とする。サブプールとダイビングプールは、当日決勝競技出場者のダウン専用とする。3日目以降は、決勝競技終了から1時間後を閉館時間とする。

(2) 練習時に、各レーン内で待機する場合、スタート練習で並ぶ場合も距離を保つこと。

(3) パドル・コード類の使用は禁止する。

(4) 練習時の大きな声での指示は控えること。ホイッスルは、電子ホイッスルに限り、メインプールとサブプール(いずれも、競技中を除く)において使用を可とする。

(5) メインプール

- ① 水深2.0m、水温は27.5°Cに設定する。
- ② 朝の練習は、1日目は開会式開始15分前まで、2~4日目は予選競技開始15分前までとする。

なお、レーン指定は次の通りとする。

1日目

- 0レーン: ダッシュレーン(スタート側からの一方通行とする)
- 1~5レーン: フリーレーン
- 6~7レーン: 50m自由形予選出場者
- 8レーン: ペースレーン(クロールスイムのみでの使用可)
- 9レーン: ダッシュレーン(ターン側からの一方通行とする)

2~4日目

- 0・1レーン: ダッシュレーン(スタート側からの一方通行とする)
- 2~8レーン: フリーレーン
- 9レーン: ペースレーン(クロールスイムのみでの使用可)

※スタート側のダッシュレーンは、利用人数によりレーン数を拡大する。

③ 昼休み(予選競技終了後)の練習は、決勝競技開始15分前までとし、1日目は当日決勝出場者と翌日出場者、2日目以降は当日決勝出場者のみ利用できる。なお、1日目は50m自由形決勝出場者の専用レーンを設ける。

④ 公式スタート練習は、行わない。

(6) サブプール

① 水温は27.5℃に設定する。

② 4レーンは、ダッシュレーンとする(バックストロークレッジを設置する)。

③ 7レーンは、ペースレーンとする(クロールスイムのみでの使用可)。

(7) ダイビングプール

① 水温は27.5℃に設定する。

② 競技中はダウン専用とする。

③ 飛び込みは禁止する。5mフラッグがないため、泳ぐ際は注意すること。

④ クーリングダウンでの使用を目的とするので、電子ホイッスルを含めてホイッスルの使用は禁止する。

7 館の使用について

(1) 入館から退館までの全ての場面で、人との距離(2m以上)をとって行動すること。選手控え場所で、人との距離・座席間の距離を保つこと。

(2) 場所取り入場は行わない。

① メインプール観客席を控え場所とする(割り振りは会場図参照)。館内、水泳場敷地内(駐車場を含む)での場所取りは全て禁止する。但し、会場内にストレッチ・ドライランドを行えるストレッチエリアを設ける。

② 感染拡大防止のため、ストレッチエリアは、シード校、各支部団体出場校、個人出場校毎に使用できる場所を指定する(会場図参照)。また、使用時には、各自で消毒等を行うこと。

③ ストレッチエリアは、十分な間隔を取れる状態で使用すること(同時に利用できる人数など、具体的な指示は監督者会議にて行う)。また、ストレッチ・ドライランドでの使用のみとし、敷物や荷物等での占有は禁止する。敷物や運動用具等を使用する場合は、「大会の参加に当たって」(12)で定めた「持ち込みできないもの」に該当しないものを準備すること。

④ 荷物は入館日から4日目まで、指定された観客席に置くことができるが、盗難について主催者は責任を負わない。観客席への置き荷物は認めるが、観客席でメインプールに背を向けて立ち、チームで使用した範囲の左上の隅にまとめて置いておくこと。

⑤ 利用した場所は、各学校の責任において消毒すること。なお、更衣室、招集所、出入口のドアなど共用部は大会主催者が消毒を行う。

(3) 新型コロナウイルス感染対策の観点から、「大会の参加に当たって」(12)に該当しない物であっても、持ち込みおよび使用は不適切と判断した物は、その使用を禁止し、翌日以降は持ち込みを認めない場合がある。

(4) 館内、水泳場敷地内(駐車場を含む)におけるチームや個人選手付トレーナーの活動に関して、用手接触を伴うマッサージやパートナーストレッチなどは禁止する。

(5) サブプールは、水泳練習とストレッチ・ドライランドの使用に限り、待機や食事場所とすることはできない。なお、サブプールのプールサイドは、一部の個人出場校のストレッチエリアとする。割り当てられた個人出場校の選手は、学校ごとに指定された場所を使用すること。

(6) 更衣は、更衣室を使用できるが、ロッカーは使用できない。置き荷物は忘れ物として取り扱い、競技会終了後に残った忘れ物は大会主催者にて処分する。また、更衣室を待機や食事場所とすることはできない。利用者は、更衣を済ませたら速やかに退室すること。

(7) 更衣室での着替え時間を短縮するため、できるだけ水着を着用した状態で来場すること。状況によっては更衣室の利用人数を制限することがある。更衣は短時間で済ませるようにすること。

(8) 泳ぐとき以外は、原則として常にマスクを着用すること(更衣室・招集所・観客席・プールサイド・トイレなど)。予選は、入場し自レーンに着いてから、決勝は、入場ゲートで紹介を受ける前に、マスクを外すことができる。レース前に外したマスクは、服のポケットか袋に入れること(マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かないこと)。

- (9) 選手は、更衣室や招集所、レース後の選手間の会話を控えること。
- (10) プールでの練習中、レース後など、マスクを着用しない選手と会話する管理者・付添者は、マスクに加えフェイスシールドまたはアイガード・ゴーグルを着用し、目からの飛沫感染も防ぐこと。
- (11) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (12) 食事は、スタンド観客席で、人との距離を2m以上保ち単独で摂ること。ドリンクの回し飲みはしないこと。
- (13) 大きな声での会話や声を出しての応援をしないこと。ワンプ、円陣、ハイタッチは禁止する。拍手、手拍子の他にスティックバルーンの使用は認めるが、他人との共用や使い回しはしないこと。また、メガホンおよびエアホーン等の鳴り物は持ち込んではいない。
- (14) 部旗は、1校1枚に限り掲出できる（横断幕、のぼりは、持ち込んではいない）。掲出できる場所は、メインプール観客席最前列の手摺とし、部旗の大きさによっては掲出できる場所を限定する場合がある。掲出する際、跡が残らないようにガムテープは使用しないこと。
- (15) 会場内外でのミーティング等は控えること。

8 表彰

- (1) 表彰式は行わない。ただし、上位3名（チーム）については、優勝者のフラッシュインタビュー後、ミックスゾーンで記念写真を撮影する。
- (2) 選手は、着衣後に手指消毒を行い、自分でメダルを首にかける。撮影時は、会話・握手は控えること。
- (3) 各種目の1～3位にはメダルおよび賞状を、4位～8位に賞状を授与する。
- (4) 選手権獲得校には優勝杯ならびに賞状を、2位～8位に賞状を授与する。
- (5) 賞状の引き渡しは、1階エントランス（レストラン側入場口付近）で行う。
- (6) 記録証の発行受付は、リゾリレーションデスクで行う。受取場所は、1階エントランスとする。

記録証発行時間：（予選競技）予選競技開始～予選終了後1時間

（決勝競技）決勝競技開始～決勝終了後30分

9 その他

- (1) マネージャーミーティングを1日目は13:45（受付13:30）、2～4日目は8:45（受付8:30）より招集所（ダイビングプール側ウッドデッキ）にて行う。
- (2) 招集所には、招集を受ける競技者以外は立ち入ることができない。
- (3) 全ての競技者は、予選・決勝を問わず競技終了後、ミックスゾーンを通り退場すること。
※個人種目に続いて、同日のリレー種目に出場する選手は、取材をリレー競技後に変更することを申告できる。
- (4) ミックスゾーンには、競技を終えた競技者以外の立ち入りを禁ずる。立ち入り制限区域を遵守すること。
- (5) サブプールに、リザルトモニターを設置する。
- (6) 公式掲示板を、更衣室入口付近に設ける。
- (7) 会場各所にて、ドリンクサービスを受けることができる。
- (8) 会場内・アリーナ内では必ず、所属校のユニフォームを着用すること。高校名・スイミング名等の入った物の使用は固く禁ずる。
- (9) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (10) プログラム（予選スタートリスト付き）は、1階の選手受付にて2,000円で販売する。また、決勝のスタートリストを、1階の選手受付にて無償で配布する。
- (11) 競技結果を、下記の公式サイトで確認することができる。
 - ① SEIKO競泳リザルト速報ホームページ (<https://swim.seiko.co.jp/>)
 - ② (公財)日本水泳連盟公認サイト「Results of Japan Swimming」(<https://result.swim.or.jp/>)
 - ③ (公財)日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://sp.j-swim.jp/>)
 - ④ 学校対抗得点 速報サービス (<http://swim-g.net/intercollege/points/index.html>)
- (12) TV放映・映像配信について
 - ① 全日程の予選は、YouTubeにてLIVE配信を行う。

- ② 1日目の予選および全日程の決勝は、CSテレ朝チャンネル2・ABEMA TVにて、生放送する。
10月7日(木) 17:00～(生放送、予選競技のみ録画によるダイジェスト放送)
10月8日(金) 16:00～(生放送)
10月9日(土) 16:00～(生放送)
10月10日(日) 16:00～(生放送)
- ③ 10月10日(日) 深夜1:25～テレビ朝日(地上波) GET SPORTSにてダイジェスト放送※一部地域を除く。
- (13) 「大会の参加に当たって」の記載事項に加えて、「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について」(大会HP:『COVID19 流行時の大会参加条件』)の内容を順守すること。
- ① 入館者全員が原則来場72時間以内(正当な理由がある場合は最長1週間以内)のウイルス検査で陰性を確認の上、来場すること。なお、陰性証明書は不要だが、後日提示できるように受検記録(検査実施や結果の通知メールなど)を控えておくこと。
- ② 不明点は早めに所属支部に問い合わせること。
- (14) 本連盟が定めた「水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン【2021年3月16日改訂版】」を順守すること。競技会主催者・施設管理者が決めたその他の措置・指示について従うこと。
- (15) 退館後2週間以内に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、競技会担当者に対して、濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (16) 全ての大会参加者は、大会期間中の行動を記録しておくこと。(例えば、会場内での移動場所および時間帯。さらに、スタンドや選手控え所での座席位置等)
- (17) 入場時に2日間続いて「37.5℃以上」に達するなど、「入館できない条件」に該当した場合は、医師の判断を仰ぎ関係各所に連絡をする。
- (18) 会場への移動時や館内においても、熱中症には十分に留意し、こまめな水分補給を心がけること。
- (19) コロナ禍での大会開催を鑑み、居住地からの移動時、宿泊地と会場の移動時、夜間の外出や食事等、感染症対策に則った行動をとること。

10 連絡事項

その他連絡事項は、随時ホームページにて公開します。

なお、新型コロナウイルス感染症の情勢により、競技情報を更新する場合がありますので、随時ホームページを確認してください。